

2030 年に向けた対応、産業の国際競争力

モデレーター：山地 憲治 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長 研究所長

パネリスト：手塚 宏之 JFE スチール株式会社 専門主監（フェロー）

中山 寿美枝 電源開発株式会社 執行役員

饗場 崇夫 トヨタ自動車株式会社 CN先行開発センター 環境エンジニアリング部 担当部長

寺沢 徹 アセットマネジメント One 株式会社 運用本部 責任投資グループ長

2021 年 10 月には、第 6 次エネルギー基本計画が閣議決定され、また、地球温暖化対策計画、パリ協定長期戦略も改定され閣議決定された。

国際競争力への懸念やそれに対応する国境炭素調整に関する動きもある中、本パネル討論では 2030 年の目標達成に向けた対応や国際競争力を維持するための各企業や金融界の取り組みについて紹介していただく。

パネリスト略歴

■JFE スチール株式会社 専門主監(フェロー) 手塚 宏之

東京大学工学部物理工学科卒、MIT スローン経営大学院 MBA

81 年日本鋼管(現 JFE スチール)入社。福山製鉄所、新材料開発センター、米ナショナルスチール(株)、総合企画部などを経て 07 年から気候変動・環境エネルギー問題を担当

社外では経団連環境安全委員会・国際環境戦略 WG 座長、日本鉄鋼連盟エネルギー技術委員長、OECD ビジネス諮問委員会(BIAC)環境エネルギー委員会副委員長、TCFD コンソーシアム情報開示 WG 座長、国際環境経済研究所主席研究員等に加え、様々な政府審議会の委員などを務めている

■電源開発株式会社 執行役員 中山 寿美枝

1988 年に東京工業大学総合理工学研究科エネルギー科学専攻修士課程修了後、電源開発株式会社に入社。1990 年に地球環境技術対策チームに配属され初めて気候変動問題に携わり、その後 MIT 客員研究員などを経て、20 年以上にわたり地球環境を担当。世界のエネルギー動向と展望の分析、環境・エネルギー政策の調査を行いながら、長年 COP に参加して気候変動を巡る世界の変化を観察してきた

2021 年 4 月より現職。京都大学経営管理大学院 特命教授、Global CCS Institute 取締役などを兼務

■トヨタ自動車株式会社 CN先行開発センター 環境エンジニアリング部 担当部長 饗場 崇夫

1991 年 早稲田大学 政治経済学部卒業、1999 年米国ハーバード大学ケネディ行政大学院修了

1991 年 日本開発銀行(現 日本政策投資銀行)入行、2006 年トヨタ自動車入社、

TOYOTA MOTOR EUROPE、内閣府(第5期科学技術基本計画等)出向等を経て、2016 年から環境部担当部長(部署名変更を経て現在に至る)

役 職：日本自動車工業会 環境政策部会副部会長、国際温暖化政策分科会分科会長

経団連：地球温暖化対策WG副座長、経団連自然保護協議会企画部会長

■アセットマネジメント One 株式会社 運用本部 責任投資グループ長 寺沢 徹

1988年4月富士銀行入行、同年10月より2013年まで みずほコーポレート銀行 みずほ銀行を通じて金利デリバティブや外国為替のトレーディング、市場企画、証券化商品などのクレジット投資、総合資金部 ALM 総括チーム次長(Asset Liability Management)など市場部門業務に従事

2013年よりみずほ銀行決済営業部証券決済業務室長(カストディ業務)

2015年よりみずほ投信投資顧問運用企画部長を経て2016年10月アセットマネジメント One 発足時より現職(責任投資グループ長)